



特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構 〒557-0004 西成区萩之茶屋 1-5-4 電話:06(6630)6060

大阪府下の野宿生活者は 1,152 人

(2003 年 2 月全国調査)

ホームレスの自立支援等に関する特別措置法
国の基本方針公示—それを受けて府下の市町

その対策の現状は

* ソフト面は今回できたかもしれないが、ハード面が立ち遅れているため、1 日も早くハード面（支援センター等）の整備が必要。—S 2 市

* 緊急なときに、提供できる宿泊施設等、社会資源がなく対応が難しい場合が多い。1 市

* 市町村単位で対応できる事業ではないのでは？ —S 5 市

釜ヶ崎支援機構は本年 9 月、大阪府下の各市町村に対して野宿生活者対策について問

人口規模	増加	減少	予測不能	合計
30万以上	1		5	6
10万以上	5		9	14
5万以上	2		10	12
5万以下	1		5	6
合計	9		29	38

い合わせをしました。全国調査では大阪市を除く大阪府下野宿生活者の合計は 1,152 人でした。野宿生活者が、今後増えるかどうかについては、29 の市町が「予測できない」としていますが、9 の市町では「増加する」と見えています。「減少する」との回答はありませんでしたから、全体としては「増加」に傾いていると思われます。

野宿者数	増加	減少	予測不能	合計
200人以上			1	1
100人以上	2			2
50人以上	1		3	4
20人以上	1		9	10
1人以上	3		9	12
0人	2		7	9
合計	9		29	38

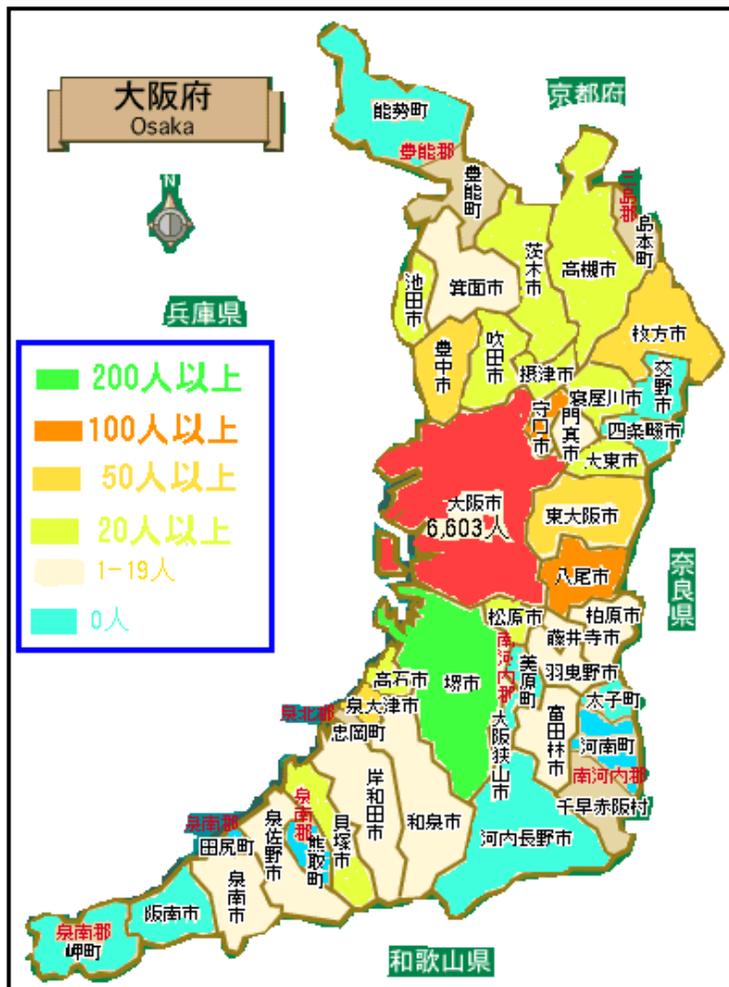
No.	市町名	人口分類	2001年 府調査	2003年全 国調査	2003年9月問合結 果	
					回答	推定値
24	S市	30万以上	237	280	280人*	280
39	H4市	30万以上	42	90	80~90人	90
20	H2市	30万以上	41	54	50~55人	55
29	T市	30万以上	68	56	40~60人	60
32	T2市	30万以上	12	41	41*	41
6	S2市	30万以上	18	46	35~40人	40
11	Y市	10万以上	103	100	90~110人	110
33	I市	10万以上	34	48	35~40人	40
38	N市	10万以上	28	43	22~43人	43
16	K市	10万以上	4	6	5~10人	10
34	I2市	10万以上		5	4~5人	5
41	M市	10万以上	48	121	120~130人	130
14	K2市	10万以上	7	4	4~5人	5
30	M2市	10万以上	20	20	20人前後	20
10	D市	10万以上	21	19	15~20人	20
17	T3市	10万以上	7	7	4人	4
21	M3市	10万以上		1	1~3人	3
19	H3市	10万以上	8	5	3~5人	5
13	K3市	10万以上		0	把握せず	
26	I3市	10万以上	17	23	17~23人	23
25	I4市	5万以上	11	15	15人	15
28	K4市	5万以上	10	16	15~20人	20
9	S3市	5万以上	24	41	10~20人	20
8	K5市	5万以上	1	1	1人	1
15	K6市	5万以上	3	1	0人	
22	I5市	5万以上	44	52	50~55人	55
40	F市	5万以上	5	3	3人	3
4	S4市	5万以上	3	8	5~10人	10
3	T4市	5万以上	26	40	10~20人	20
5	H市	5万以上		0	0人	
31	O市	5万以上		1	0人	
12	S5市	5万以上	1	1	0人	
23	M4町	5万以下	1	0	0人	
27	S6町	5万以下		1	1~2人	2
2	M5町	5万以下	1	0	0人	
1	T5市	5万以下	2	3	2~4人	4
7	T6市	5万以下		0	0人	
18	N2町	5万以下		0	0人	
合 計			847人	1,152人		1,134人

野宿生活者対人口千人比	
都市名	対人口 千人比
大阪市	2.52
5都市平均	0.87
名古屋市	0.82
東京23区	0.72
川崎市	0.65
泉大津市	0.58
福岡市	0.44
京都市	0.43
北九州市	0.42
高石市	0.42
八尾市	0.38
守口市	0.32
堺市	0.3
摂津市	0.28
他指定都市平均	0.25
神戸市	0.21
仙台市	0.2
全国平均	0.2
豊中市	0.17
池田市	0.17
大東市	0.16
松原市	0.15
千葉市	0.14
広島市	0.14
横浜市	0.13
茨木市	0.13
寝屋川市	0.11
泉佐野市	0.11
貝塚市	0.11
忠岡町	0.11
枚方市	0.1
東大阪市	0.08
藤井寺市	0.08
羽曳野市	0.07
富田林市	0.06
札幌市	0.05
吹田市	0.05
門真市	0.05
泉南市	0.05
岬町	0.05
交野市	0.04
高槻市	0.03
美原町	0.03
岸和田市	0.02
四条畷市	0.02
柏原市	0.01

人口千人当りの野宿生活者の数は大阪市が最大で、2.52人です。大阪府下の市でも全国的に見て上位に入る市があります。

地図で野宿生活者の存在規模を色分けして見ると、大阪市に隣接している市の存在規模が大きい傾向が読み取れますが、枚方市や泉大津市のような例外もあります。

2001年2・3月に大阪府下の野宿生活者調査を実施した大阪府立大学社会福祉学部都市福祉研究会の報告によれば、野宿生活直前に大阪市内に住んでいたのは31.5%、大阪府下に住んでいたのは50.6%、他府県が11.1%でした。



少し古くなりますが、大阪市立大学都市環境問題研究会が1998年8月に実施した大阪市内野宿生活者聞き取り調査によれば、大阪市内に住民票のあるものが48.7%であり、残り51.3%の内およそ4分の1の約13%が府下に住民票があると答えています。他府県は約38%となりますが、大阪市内調査でも直前に住んでいた場所で質問していれば、大阪府下や市内在住がもう少し多くなっていたものと思われます。

二つの調査が示していることは、大阪市内や大阪府下で野宿を余儀なくされている人々の多くは、元々大阪市内や大阪府下の各市町村に生活基盤を持っていた人たちであるということだと思います。規模の大きい小さいはありますが、大阪府下の多くの市で

も日々野宿生活者が「発生」しているといっても過言ではないでしょう。野宿生活者対策（予防も含めて）は、すべての地方自治体で取り組まれる必要があります。

人口規模	交通費	食費	宿泊施設	医療機関紹介	他都市の情報提供	相談、準備せ	対応策なし	合計
30万以上	3			3				6
10万以上	10	2		6	2			20
5万以上	9	1		5		1	1	17
5万以下	2	1				3	1	7
合計	24	4		14	2	4	2	50

野宿者数	交通費	食費	宿泊施設	医療機関紹介	他都市の情報提供	相談、準備せ	対応策なし	合計
200人以上								
100人以上				1	1			2
50人以上	2			2				4
20人以上	8	1		6	1		1	17
1人以上	8	1		4		1	1	15
0人	6	2		1		3		12
合計	24	4		14	2	4	2	50

しかしながら、冒頭の各市担当者の感想にもあるように、大阪市以外は、対応策として交通費支給や緊急入院しかないのが現状です

今後の対策の基礎

人口規模	策定しない	策定予定	検討中	府と協議中	府の実施計画を参考	合計
30万以上		1	1	2	3	7
10万以上	1			6	6	13
5万以上			5	5	3	13
5万以下	2		1	2	1	6
合計	3	1	7	15	13	39

野宿者数	策定しない	策定予定	検討中	府と協議中	府の実施計画を参考	合計
200人以上					1	1
100人以上				1	1	2
50人以上			1	1	2	4
20人以上		1		5	5	11
1人以上	1		4	5	2	12
0人	2		2	3	2	9
合計	3	1	7	15	13	39

となるのは「実施計画」ですが、多くの市が大阪府と協議するか府の実施計画を参考にしています。

日本最大の野宿生活者を抱える大阪市が対策を多様化し対策規模の拡大に努めるのは当然として、それとどまるだ

NPO 釜ヶ崎通信・広報版
 2003(平成15)年11月10日
<http://www.npokama.org>
npokama@npokama.org
 郵便振り込み口座
 口座番号=00900-1-147702
 口座名=釜ヶ崎支援機構

けではなく、これまでの経験を元に、積極的に大阪府や大阪府下の他都市に対して、対策の取り組みを働きかける役割も担うべきであると考えられます。

その対策を、国が支えるべきであると考えます。